

数学

<全体分析>

試験時間	70分	解答問題数	4題
------	-----	-------	----

解答形式

I、III、IV はマーク式、IIは答のみ記入する空欄補充型。

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化）

昨年はIとIIが小問集合だったが、今年はIのみ小問集合に戻った。そのために、解きやすさはなったが、計算量はやはり多め。

出題の特徴や昨年との変更点

整数（「数学と人間の活動」）は出題範囲外となり、今年はお題されなかった。

新課程を踏まえた出題

I (i) にデータの分析が出題された。

その他トピックス

なし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
I (i) (ii) (iii) (iv) (v)	データの分析	数学I	データの平均値と分散。	易
	図形と計量	数学I	球と平面の切り口の円の半径に関する問題。	易
	指数関数・対数関数	数学II	対数関数のグラフで囲まれた部分の格子点を数える問題。	標準
	積分法	数学B	簡単な積分計算、及び絶対値付き三角関数の最大最小。	標準
	三角関数	数学II	正方形を放物線のグラフで2等分する問題。	標準
II	積分法	数学II		
	図形と方程式	数学II	反比例のグラフの上にある点からなる三角形の面積など。直線の傾きとx軸のなす角の関係や、三角関数の加法定理などを使う。最後に、3次方程式の解の個数を微分を用いて調べる。	標準
	三角関数	数学II		
III	確率	数学A	漸化式を立てて確率を求める問題。2項間漸化式を解く。	やや難
	数列	数学B		
IV	図形と方程式	数学II	規則的に並べられた三角形の頂点の座標を求める。等比数列の和などを使う。最後に、すべての頂点があるような放物線の方程式を求める。	標準
	数列	数学B		
	三角関数	数学II		

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

数学

慶應義塾大学 商学部 2/2

<学習対策>

数学Ⅱは全般的にどの分野からも出題されているので、苦手なところは残さないように学習したい。また、数学Bの数列は頻出なので、集中的に訓練しておきたい。ベクトルは数学Cの範囲ではあるが、様々な場面で使える場合が多いので、使えると便利である。昨年より解きやすくなったとはいえ、70分で解くためにはさうとうの計算力が必要とされる。記述問題はないので、答の数値を要領よく短い時間で求める練習をしたい。ただし、決して計算はあわててはいけない。